

首都圏での乾しいたけの販売促進活動の取組み

1 イトーヨーカ堂直接販売の再開

久慈管内の原木しいたけやほだ木の全戸検査が完了し、全て基準値及び指標値以下であったことから、イトーヨーカ堂本部への安全供給体制の提案により、10月から出荷再開が決定し、地域経営推進費を活用して首都圏で販売促進活動をしたので報告します。

2 産業経済交流課との連携

産業経済交流課と連携してイトーヨーカ堂の「東北かけはしフェア」として、11月23～24日イトーヨーカドー大宮宮原店で、久慈漁協の販売促進と一緒に行いました。

久慈地方森林組合1名、椎茸生産者1名、振興局2名(1名は1日のみ)で行いました。



3 「詰め放題」と「しいたこ焼き」が好評

販促活動は、乾しいたけの詰め放題(山なり出荷箱3ケース約45kg)の販売と乾しいたけを水戻した戻し汁と具を利用した「しいたこ焼き」の試食を行いました。詰め放題は1袋398円で、老若男女問わず夢中になって詰

め込み、2日間で完売。試食のしいたこ焼きも焼くのが間に合わないほど好評でした。



1日目にお客様にアンケート調査を行った結果、岩手県久慈地方の知名度は低かったのですが、親戚がいたり、震災後に旅行した人もいました。放射能の影響に関しては、あまり神経質になっている人は少なく、イトーヨーカドーであれば安全だと思っている人もいました。



4 今後の取組み

椎茸市場価格が低迷する中、安定した高単価の直接販売は生産者の励みになることから、新商品の提案や生産拡大しながら、乾しいたけ販売促進の支援をしていきます。